



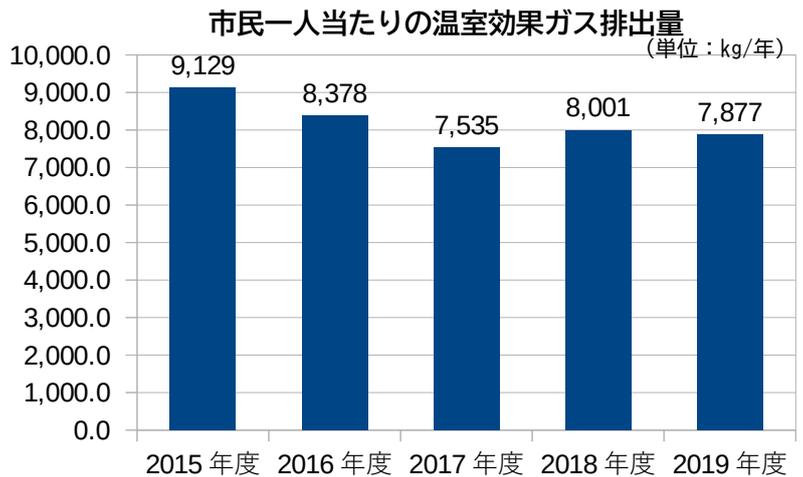
ゼロカーボンシティ会津若松について

近年増加する異常な高温や豪雨は、私たちの生活で排出される、温室効果ガスの増加で起こる温暖化が原因とされています。

会津若松市は、2050年までのできるだけ早い時期に、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量実質ゼロ（＝脱炭素）に取り組む決意を表した「**ゼロカーボンシティ会津若松宣言**」を行いました。

2019年度の市民一人当たりの排出量は約7,900kg/年でした

会津若松市の温室効果ガスは減少傾向にありますが、まだ多くの量が排出されています。実質ゼロまで、削減の取組をさらに進める必要があります。



<p>省エネの推進</p>	<p>電化の推進</p>
<p>再生可能エネルギーの地産地消の推進</p>	<p>3R+Renewableの推進 (ごみの削減)</p>

排出量削減の4つのポイント

温室効果ガスは、石油などの化石燃料の使用やごみの運搬・焼却等により排出されます。化石燃料ではなく太陽光などの再生可能エネルギーを使うようにし、また、ごみを減らすことが重要です。

排出量削減の4つのポイント

令和4年度、家庭から燃やせるごみとして排出されたプラスチック（プラスチック製容器包装やプラスチック製品）の焼却で、10,079,142kgの二酸化炭素が排出されてしまったと推計されます。

- 「物を大切に使い、ごみを減らすこと」
- 「使える物は繰り返し使うこと」
- 「ごみを資源として再び利用すること」
- 「紙や木、バイオマスプラスチックなど持続可能な資源を使うこと」

の「3R+Renewable（スリーアールプラスリニューアブル）」を進め、燃やすごみを少なくすることが、ゼロカーボンシティ実現のために重要です。



令和3年度一般廃棄物処理実態調査結果について

参考資料2

順位 上位順	順位 下位順	都道府県名	地方公共団 体コード	市区町村名 (人口10万人か ら50万人区分)	総人口(人)	1人1日当たりの排出量			参考	前年度 下位順位
						合計 (ごみ総排出 量)*10 ⁶ /総 人口/365	生活系ごみ (生活系ごみ 搬入量+集団 回収量)*10 ⁶ /総 人口/365	事業系ごみ (事業系ごみ 搬入量)*10 ⁶ /総 人口/365	リサイクル率 R (直接資源化量+中間 処理後再生利用量 +集団回収量)/(ごみ 処理量+集団回収 量)*100	
						(人)	(g/人日)	(g/人日)	(g/人日)	
1	232	静岡県	22213	掛川市	116,569	623	490	133	12.6	
2	231	東京都	13212	日野市	187,293	631	568	63	32.5	
3	230	東京都	13210	小金井市	124,646	635	601	35	44.8	
4	229	東京都	13202	立川市	185,120	666	592	74	35.5	
5	228	静岡県	22214	藤枝市	143,681	672	535	137	20.8	
6	227	東京都	13229	西東京市	205,943	672	592	80	33.9	
7	226	東京都	13211	小平市	195,492	673	615	57	29.3	
8	225	東京都	13214	国分寺市	127,715	678	623	55	44.5	
9	224	東京都	13213	東村山市	151,585	679	609	71	36.4	
10	223	東京都	13206	府中市	260,242	681	584	97	30.4	
205	28	福島県	07204	いわき市	315,566	1,028	739	288	24.5	55位
219	14	埼玉県	11202	熊谷市	194,122	1,083	784	299	10.4	7位
220	13	福島県	07201	福島市	273,904	1,091	789	301	10.2	10位
223	10	三重県	24203	伊勢市	123,434	1,097	757	339	23.6	11位
224	9	福島県	07202	会津若松市	115,840	1,100	791	310	13.4	8位
225	8	北海道	01203	小樽市	109,712	1,107	672	434	15.9	15位
226	7	千葉県	12206	木更津市	136,141	1,114	650	464	21.4	5位
227	6	北海道	01202	函館市	248,856	1,121	740	381	14.3	3位
228	5	北海道	01206	釧路市	163,761	1,128	767	361	17.6	9位
229	4	北海道	01213	苫小牧市	169,756	1,135	632	504	31.3	6位
230	3	大分県	44202	別府市	112,655	1,172	676	496	8.9	4位
231	2	福島県	07203	郡山市	320,120	1,183	767	416	9.9	2位
232	1	宮崎県	45202	都城市	162,666	1,218	756	462	21.8	1位

・本市との比較で、昨年度下位の熊谷市が上位へ、上位の小樽市と釧路市が下位となったことで、本市が順位1つ改善。

参考) 昨年度からの増減

ワースト8位	福島県	07202	会津若松市	117,190	1,123	811	312	13.3
1つ改善			対前年度増減	▲ 1,350	▲ 23	▲ 20	▲ 3	+0.1

令和5年度 全市一斉ごみ減量運動の取組と経過

1 経 過

ごみの基本的な分別に加え、令和3年度から実施してきた「雑がみの分別徹底」や「古着の拠点回収」等について、市民への定着状況の把握と、ごみ減量意識の更なる浸透を図るために、令和4年6月から、ごみ減量に向けた市民協働の取組として、町内会・市民向け「ごみ分別・減量説明会」の開催、市清掃指導員の「ごみステーションでの立会い・排出説明」を実施した。

2 現在までの取組

(1)地区区長会「ごみ分別・減量説明会」

- ①概 要 市職員が、市区長会や町内会等の会議等に参加し、ごみの分別や減量について関心を持っていただき、取り組んでいただくための説明を行う。
- ②時 期 4月から9月頃まで重点的に実施。以降も要請に応じて随時開催。
- ③取組状況

No.	開催日	団体名	開催場所	参加人数
1	4/20 (木)	謹教地区区長会	中の島	25名
2	5/20 (土)	鶴城地区区長会	鶴城コミュニティーセンター	17名
3	6/1 (木)	高野地区区長会	北公民館	11名
4	6/16 (金)	大戸地区区長会	※説明資料配布	—
5	6/30 (金)	北会津地区区長会	北会津支所	40名
6	7/5 (水)	門田地区区長会	南公民館	11名
7	7/8 (土)	神指地区区長会	神指分館	16名
8	8/4 (金)	河東地区3地区区長会	河東支所	55名
9	8/20 (日)	湊地区区長会	湊公民館	18名
10	9/5 (火)	町北地区区長会	町北集会所	8名
合 計				201名

④参加者からの意見

- ・ ゴミの出し方について市の回覧を見ないので、町内独自のチラシを作成して、分別を徹底させる。
- ・ 特に40代のごみの出し方が悪い。有料化も必要と思われる。
- ・ 市政だよりのチラシの数を減らしてほしい
- ・ ごみの排出の少ない都市の取り組みを聞いたことはあるのか。
- ・ チラシを回覧する。
- ・ ごみ減量に協力する。
- ・ 米袋にごみを入れてはダメとのことだったが、それならば「雑がみと表記し雑がみ袋として利用してはどうか。



(2)市清掃指導員のごみステーションでの立会い・排出説明

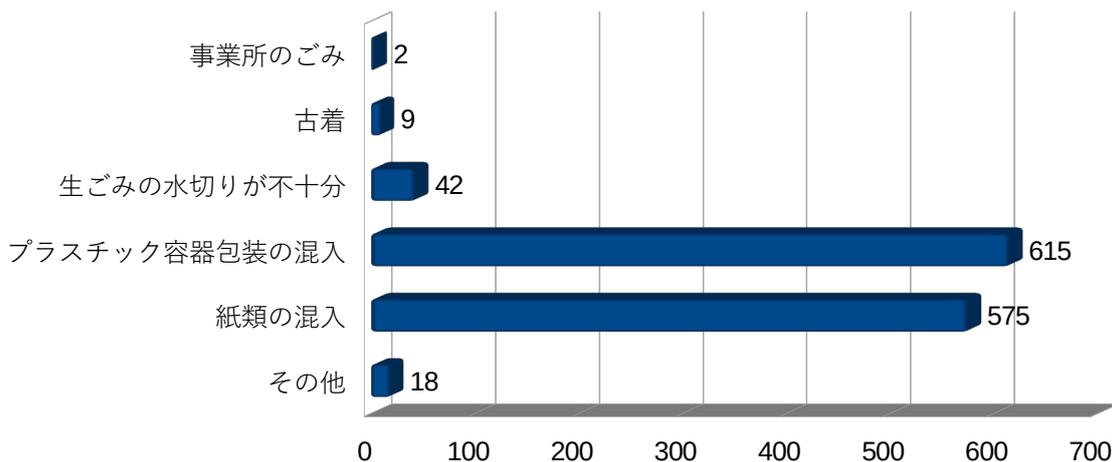
- ①概要 市の清掃指導員が、朝、ごみステーションで、住民のごみ出しに立会い、チラシを配布し、ごみ減量への協力を呼びかける。また、持ち込まれるごみ袋の外見から分別状況を確認。その日に出してはいけない品目の排出や十分に分別・減量されていない場合には、分別・減量方法を説明。
実施時は、「ごみ減量運動実施中！」の、のぼり旗を掲げる。

②取組状況（R5.9.30現在）

No.	地区	(参考)全町内回数	実施町内会数		うち区長・役員等の同席があった町内会数		区長・役員等		排出者	
			6月	9月	6月	9月	6月	9月	6月	9月
1	行仁	43	7	8	7	7	23	16	28	18
2	鶴城	30	4	4	3	4	6	18	12	5
3	謹教	60	9	8	5	8	14	26	30	19
4	城北	27	4	4	1	3	1	3	8	15
5	日新	30	4	4	4	4	26	9	11	17
6	城西	31	4	4	4	4	16	4	4	5
7	町北	8	2	2	1	2	2	2	6	6
8	高野	11	2	2	2	1	12	2	9	26
9	神指	16	2	2	2	1	16	1	16	8
10	門田	46	6	6	6	5	32	28	23	19
11	東山	15	2	3	2	2	10	16	4	6
12	一箕	57	6	6	6	6	18	16	12	18
13	大戸	14	2	2	1	2	3	8	1	6
14	湊	16	3	4	3	2	33	2	9	3
15	北会津	50	8	10	8	8	26	17	27	22
16	日橋	25	4	4	4	4	8	33	17	11
17	八田	10	2	2	2	2	6	4	3	6
18	堂島	18	4	2	4	2	4	2	20	9
計		507	75	77	65	67	256	207	240	219
小計			152		132		463		459	
合計			922							

③分別等が充分ではないごみ袋の個数（総数は把握できていない）

不適切な分別・排出の状況（件数）令和5年6月・9月



④参加者からの意見等

(排出者から)

- 剪定枝などは自己所有の山林に置いておくのでごみSTには排出していない。
- 熊出没で生ごみをたい肥することが出来ない。
- 資源物が出ないようにメーカーが考えてほしい。
- ごみ分別の理由が理解出来た。
- こういうことに参加しない人の対策が大切である。
- 立会いをするのが遅い。もっと早く取り組むべき。
- どのようにリサイクルされるかも周知すべきでは。
- 古着は稽古堂に出している。木曜日の資源・不燃は当番でSTに立会している。
- 雑紙入れの袋を配ってほしい。
- コンポストを活用したいが野生動物に荒されてしまう。何かいい方法があれば教えてほしい。
- 対象品が多いので、雑がみに特化したチラシ等で周知してほしい。
- 雑紙入れの袋を配ってほしい。
- ごみの出し方を聞いて良かった。
- ゴミ置き場についてどう考えているのか。ST補助は全額に。
- 分別は出来る限り実践している。
- 古着回収に協力したいが回収場所が遠い。
- 古着回収をもっと大々的に広報したらどうか。
- 草木は乾燥させて、生ごみは畑でたい肥化している。
- プラの出し方がよく分からなかったのが今回の立会で分かった、このような取組は良いと思う。
- 人口減少で焼却施設を小さくするのは国の少子化対策に逆行している。人口が増えたらどうする？
- 有料化しないとごみは減らない、町内でコンポストを設置するのも良いかもしれないが管理が大変。

(区長・役員から)

- ごみ減量の周知をしたので、チラシ25部配布する。
- ルールを守らないごみには区長がチラシを貼付し、写真を撮って回覧している。
- 町内にある緑地を除草した草を堆肥枠を設けて保管し堆肥として利用しごみとして排出しないようになった。

⑤その他

- カラス被害が多いようで、折畳式STを紹介し、補助を使用し設置予定。
- カラス問題をどう考えているのか。
- 燃やせるごみの日に、燃やせないごみが捨てられることがある。
- ごみの正しい分け方・出し方のポスターをもう一度作ってほしい。
- 町内会以外の住民がごみを捨てていく。
- 登校途中の小学生2名が路肩に捨てられているごみを拾っていた。



3 今後の取組

○「全市一斉ごみ減量運動」の継続

- 毎年6月・9月を、「全市一斉ごみ減量運動」期間とする。
(福島県「不法投棄防止強調月間」と同じ期間)
- 市民一人ひとりが、ごみ減量運動の主体者として、家庭や事業所でのごみ減量に取り組んでいただくことを目指し、ごみ情報紙「へらすべえ」や、市ホームページなどで広報。
- 「市清掃指導員のごみステーションでの立会い・排出説明」を定例的な取組とし、毎年6月・9月に実施。令和7年度までに全507町内会で実施することを目標とする。町内会や環境美化推進協議会に対して、立会いへの同席や周知などについて協力を求める。また、要望があれば、「ごみ分別・減量5分間説明会」を開催。
- 町内会・市民向け「ごみ分別・減量説明会」について、毎年度、18地区区長会での実施を依頼する。4月から9月頃まで重点的に実施。以降も町内会などの要請に応じて随時開催。